

地域座談会（北条地区会場） 意見交換記録

と き 平成26年5月9日（金曜日）
午後7時30分から午後9時35分

ところ 中央公民館

参加者 22人

番号	項目	町民等からの意見等要旨	町からの発言要旨
1	少子化対策 (若者が安心して結婚し、子どもが生まれる社会づくり)について	<p>●一人暮らしの人が増え、空き家も多く、子ども達もだんだん減って、耕作放棄地が増えている。地域に雇用がなく、若い人が安心して健康して子どもが生まれる社会になっていない。</p> <p>町が様々な施策を講じて、今の住民がどれだけ豊かになったとしても、この問題が解決できなくては、町が消滅してしまう。</p> <p>このような問題は町だけで解決できる問題ではなく、国全体の問題である。町として国や県に働きかけていかなくてはいけないのではないか。</p>	<p>●国全体がだんだん縮小し、人口も減っています。今世紀末には8,000万人くらいになるのではと言われています。人口が減れば経済力も弱まり、国力も劣ってきます。</p> <p>厚労省をはじめ関係省庁がでも結婚から子育てまでの施策を行うようにしており、本町もそれに沿って、施策を行っていきます。来年度から国が新しい制度を実施しますが、今はその計画段階です。何とか子どもを増やしていきたいと思っています。</p> <p>ただし、今、結婚して子どもが増えても、生産人口になるまでに20年かかります。すぐに成果があるものではありませんが、少しずつでもやっていくことが大切だと考えています。</p> <p>地方からはどんどん人口が流出し、疲弊しています。東京一極集中で、東京だけが増えています。ただし、東京でも若い人は結婚せず、出生率は全国平均よりかなり低く、人口が増えても子どもが増えない現実があります。</p> <p>難しい問題をたくさんはらんでいます。人口が減れば地方も維持できませんので、町も国、県と協議しながら対策をしていく必要があると思っています。そのひとつが雇用対策や結婚支援であると</p>

		<p>●高齢者の方も豊かな暮らしをしなくてはならないが、高齢者が豊かな暮らしをして、若い人たちの生活にしわ寄せが行っているのではないか。今の大人が豊かな暮らしができて、若い人たちが暮らしていける社会でなければ、将来破たんしかない。今、暮らしている大人たちが、もう少し身を切って、若い人たちの生活や子育てが持続可能な社会をつくらなくてはならないのではないか。</p>	<p>思います。町だけでは難しい面もありますので、協力しながら出来る取り組みを続けたいと思います。</p> <p>婚活もしてもらっていますが、カップルができないのが実態です。昔のように見合いもされないということもあり、難しい問題だと考えています。</p> <p>●若い人が子育て出来るよう支援に力を入れてやっています。</p> <p>昔より生活にお金がかかる時代となり、皆が一緒に住み、大家族で子育てを行っていたのが、若い人は家を出て行き、年寄りもその方があんきでよいと言われたりしますが、生活が二つになり、大変だと思っています。母子家庭も若干増えてきています。</p> <p>時代とともに変わっていく子育てを、どうやって支援していくのが課題だと思っています。</p> <p>ただし、高齢者も増えて来ていますので、一定のことはしていかなくてはならないと思います。</p> <p>日本は低負担、高福祉と言われています。ある程度の施策をするためには負担も出てくるだろうと思っています。中負担中福祉ということになれば、負担も出てきますが、それが良いかどうかは国民の皆さんが考えていくことになると思います。</p> <p>現状では難しい面もありますが、その中で精いっぱいやっていきたいと思っています。</p>
2	自主財源について	<p>●今後、人口は減っていく。5年あるいは10年先の自主財源について、どういう方向性を持って取り</p>	<p>●資料に5年後の税収を試算していますが、試算の考え方としては、地方税については、26年度は前年</p>

		<p>組んでいくのか。</p>	<p>度据え置き、また通常 3 年ごとに固定資産税は見直しで下がっていきますので、現在で予測が出来るもので推計をしています。</p> <p>景気が上向く等で税収が上がれば変わってきますが、今の時点ではそのような見通しはたちませんので、先細りの推計となっています。</p> <p>現在行っている事業も一から精査をして、歳入にあった歳出をするという財政運営が今もこれからも求められていると考えています。</p>
3	<p>高齢者に関する予算と健康づくりについて</p>	<p>●65 歳以上が高齢者で、75 歳以上が後期高齢者である。高齢者に関する予算が膨らんでいると思う。どのように考えているか。</p> <p>国保の医療費や介護保険等も含めて考えていかななくてはならない。</p> <p>高齢者の健康づくりをどのような方向性で取り組んでいくのか。最近、ウォーキングが全国的に広がっている。高齢者の健康づくりによいのではないか。</p>	<p>●国保の医療費は年々増えていきます。使われた医療費は支払うしかありません。町民皆が予防を心がけ、重症化しないよう意識を持っていくことが一番大事です。</p> <p>健康づくりについては、年齢に応じた考え方があると思いますので、75 歳から 80 歳代の方と 70 代前半の方は違うと考えています。</p> <p>74 歳までが 1 番は自分の健康であり、健診を受けて今の自分の状況がどうであるかを知り、何をすればよいかを考えることが必要です。</p> <p>特に今年は「健診を受けましょう」ということを北栄町では頑張っていきたいと思っています。</p> <p>全体としては、色んな病気につながる可能性があるため、血压予防に取り組んでいます。一番重要なのが減塩です。病気のある人、ない人全員が取り組んでいかななくてはなりません。食生活推進員や各自治会と連携・協力しながら、減塩運動に取り組んでいただくこ</p>

		<p>とを頑張っていきたいと思っています。</p> <p>75歳で線引きをするわけではないですが、ある程度年齢を重ねた方については、運動は体に負担を掛けることにもなります。北栄町では「こけない体運動」の取り組みを進めています。現在、10自治会について、地域包括支援センターが中心となって取り組んでいます。高齢者の方は体操するだけでなく、家に閉じこもらずに出ていくことが大切です。全自治会が取り組んでいただけるよう目指しているところです。</p> <p>●ウォーキングは本年度、北栄てくてくクラブと町が連携して、年4回、4月5月9月11月に歴史探訪ウォークや秋の味覚ウォークを開催します。楽しみながら歩くことで、ウォーキングに親しむ方を増やすシンボリックな大会を予定しています。</p> <p>他にも鳥取県では県内19市町村を歩くものも開催され、ウォーキングの大会は増えています。また、ウォーキングで中部地域を元気にしようという取り組みも行われています。特に湯梨浜で行われているノルディックウォークが中心的な大会となっています。</p> <p>体にあった、体調にあったウォーキングをする取り組みが出来ればと考えています。</p> <p>また、スポーツクラブでも高齢者の体にあった健康づくりということで、シニア教室やはつらつ教室など月2回、仲間と取り組める教室を開いています。</p>
--	--	--

			<p>昨年度は、出前講座を老人クラブが 5 団体、いきいきサロンで 9 団体が利用しました。ニュースポーツで、室内で出来るグラウンドゴルフやカロリングやバランスボール、風船バレー等、年齢に応じた無理がない取り組みやすい運動メニューを増やしています。</p> <p>●介護保険の関係についてです。町の今の高齢化率は 28.1%です。平成 18 年は 24.8%だったので、3.3%増えています。平成 18 年と平成 25 年を比較すると総人口は約 1,000 人減っています。それに比べて高齢者の数は約 250 人程度増えているということで、高齢化率が上がった原因は人口減少ではないかと思われます。また、団塊世代がそういう年代に達してきたので高齢者の方が増えてきたということもあります。</p> <p>介護の認定率については、平成 21 年に 20.9%だったのが現在 18.9%と下がっています。これは、分母が増えたので減ったということもありますが、全体として認定を受けている絶対数が減っていますので、関係部署が「こけない体体操」など介護が必要にならないよう取り組みを行った効果が出ていると思っています。</p> <p>介護保険特別会計は高齢化率が上がるに従って、年々増えていきます。このままの状態だと大変なことになるので、元気な高齢者を増やす取り組みがより一層求められています。</p>
4	中期財政見通しについて	●中期財政見通しによると、10 年先には収入も支出も 10 億減る。増	●中期財政見通しについては、現在の人員がそのまま維持されてい

		<p>えるのは人件費のみでやりくりが大変だと思っている。これは北栄町だけではなく全国的なものだと思うし、県も同じだと思う。</p> <p>子どもは減り、高齢者は増えて大変なことばかりだと思う。</p> <p>執行部と議会が一緒になって頑張って切り抜けてほしいと思う。</p>	<p>るといふのを前提に推計していません。</p> <p>職員の数については、業務は増えるが職員は減る、あるいは減らせという意見もあり、どうすべきかという思いもあります。</p> <p>今後の財政運営については、今やっているから来年も再来年もやるということではなく、真に必要なものを判断し、優先順位を付けたり、やりくりしたりする必要があります。推計では31年には基金がなくなり赤字となっていますが、そうならないようにしなくてははいけません。</p> <p>昨年の地域座談会に来られた方は分かるかもしれませんが、昨年の資料ではもっと厳しい予想をしていました。今年度は基金を取り崩さないような予算編成をしております。</p> <p>(町長) 財政は大変厳しくなってくるということは、皆さんよく分かっていることだと思います。</p> <p>何十年後かには、国の借金は8,000兆円ということが出ていました。今が1000兆円程度で、国民総生産の倍です。</p> <p>そうならないようにするためには行政だけではなく、住民の皆さんの協力を得ないと出来ないことがたくさんあります。一緒になってやっていく、町だけしっかりしろということではなく、協力できることは協力してやるので何とかしようという気持ちをもってください。ぜひ協力していただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。</p>
--	--	---	---

5	企業誘致について	<p>●倉吉市の企業誘致についてテレビ放送で見たが、北栄町にも企業がないと若者は町外に出たら帰ってこない。方向性を聞きたい。</p>	<p>●（町長）倉吉がたくさん企業の誘致を実施されています。雇用の場ができるということで、中部にとっても大変ありがたいことで、北栄町からも雇用されるということであれば、嬉しいことだと思っています。</p> <p>ただ、人口減っている中で従業員が確保できないという問題もあるようです。特に専門的な技術がいるということになれば、ますます難しいということです。今、県外に出ておられて、こちらに戻りたいという方たちに県も声を掛けておられるようです。帰る気があれば帰って、そこに住んではどうかという話をされているようです。</p> <p>企業が増えれば雇用の選択肢が増え、税収も増えるということになりますので、町としても頑張っていかななくてはと思っています。</p> <p>皆さんもご存知だと思いますが、商業施設が北栄町に進出したということで、町としてもありがたいことであり話を進めています。</p> <p>現在は、まだ一部の地権者の方と話が出来ていない状況ですが、町としても一緒になって取り組んでまいりたいと思っています。</p> <p>山陰道・北条道路がまだ事業化になっていませんが、将来的にはなるだろうと思っています。</p> <p>将来、湯梨浜から琴浦までつなげると北栄町を通過される可能性があります。そうならないよう、町内に商業施設が必要だと思っています。また、雇用面でもぜひ進</p>
---	----------	--	---

			<p>めていきたいと思っておりますが、まだ時間はかかると思っております。</p> <p>企業誘致は、土地・建物も用意して、「来てください」ということにならないと非常に難しいです。</p> <p>倉吉は28億円くらいのお金を使って企業誘致をしています。ある程度、財政的余裕がないと難しい状況です。北栄町はそこまですることは考えていないところです。</p>
6	<p>防災について</p>	<p>●いつ天災があるか分からない。北栄町は日本海に面している。</p> <p>どのように取り組んでいくのか、これからの方向性を聞きたい。</p>	<p>●災害を起こさないようにすることは不可能であり、今は、起きてしまった時に被害が小さくなるような減災対策が求められています。</p> <p>普段からの備えとして各自治会に避難訓練等の実施をお願いしています。起こった時にどう被害が大きくなるのを防ぐのか、避難訓練を行って認識を深めていただきたいです。</p> <p>各家庭への火災報知器の設置が義務付けられています。避難持出袋も各家庭で準備していただき、非常時には貴重品や水等を持ち出すという取り組みをしていただきたいと思っております。</p> <p>防災関係については、出前講座のメニューの11項目に「安全・治安」として「自主防災組織について」、「災害から身を守るために」という講座を準備しています。8人以上であれば、こちらから出向いて講座を開くことができますので、ぜひご利用ください。</p>
7	<p>上下水道の維持管理について</p>	<p>●みどり団地の上下水道管等について、中北条地区の東側の方はまだ新しいと思うが、その他はどうか。</p>	<p>●みどり団地が出来て40年程度になります。すでに一部のしきり弁や水道管等については閉塞があり修繕を行っているという状況があ</p>

		<p>ります。</p> <p>町内の水道施設もかなり古くなっているところがあり、石綿管については随時更新していった、今年度中に完了するのではないかと考えています。</p> <p>変えたい路線はたくさんありますが、どんどん変えてしまうと使用料の値上げを引き起こすこととなりますので、計画的にやっていきます。</p> <p>みどり団地方面でいうと、国坂東からみどり団地に抜けての幹線管きよを今年度計画的に行うようにしています。</p> <p>下水道については、主にマンホール蓋がかなり古くなって錆が多くなっているものがありますので、様子を見ながら古いものから順次交換していくようにしているところです。</p>
--	--	--